

学び続ける楽しさ、進化し続ける喜び



有限会社OBSビジネスパートナー 代表取締役 佐藤 真理

私がIBAに入学したのは2006年4月、経営コンサルタントとして駆け出しの頃でした。学部時代は法律や政治学を学び、卒業後は大手金融機関にて営業現場、企画、総務、経理など様々な業務に携わりました。その経験を活かし、地元の中小企業の方々のお役に立ちたい。そんな思いで、中小企業診断士の資格をとり独立開業したのですが、企業の課題やニーズは様々です。個別の社長さんの悩みや課題と向き合ううちに、経営に関する様々なテーマについて、もっと深く、掘り下げて学んでみたいと思うようになりました。また、自営で仕事をしていると視野が狭くなりがちです。そこで、様々な業種・経歴の方と互いに切磋琢磨しあえる環境がほしいと思い、IBAの門を叩くことにしました。

実際に入学してまず感じたことは、理論と実践のバランスがとても良いということです。現場でもすぐ使える知識や手法と、その背景にある学術的根拠や理論をあわせて学ぶことで、自分自身の思考がより広く、より深くなっていくのを実感しました。何度となく行ったグループワークも、組織論やリーダーシップ論を実践で学ぶ良い機会となりました。また、社会人になってから改めて学問に触れることで、新たな発見もありました。例えば経済学については、あらゆる経済活動・経営のベースになっていることが実感として腑に落ち、興味深く学びなおすことができました。

課題研究（ファイナンス専攻）では、「新興6市場における新規公開企業の長期株価パフォーマンスと業績動向」というテーマで、新興市場に上場した企業のその後の軌跡について、11年分のデータを用いて実証研究を行いました。普段仕事をする中で感じていることや私なりの経験則を、理論と数値で実証することができ、その成果は仕事の上でも大変役立っています。また、仕事仲間との研究会で発表し、議論を発展させたりもしています。

修了後も、大学や教えて頂いた先生方、仲間たちとの関係は、様々な形で続いています。飲み会などのフランクな会合のほか、ご縁を頂いて、関学のMBA修了生が講師をつとめる外部社会人向けセミナー「丸の内講座」や、学部生向けの講座で教えさせて頂いたりもしています。乾いたスポンジのように吸収力のある若い人たちの育成は、普段の経営コンサルティングの仕事とは一味違った楽しさがあり、とても刺激的です。

またこの夏からは、ファイナンス専攻の修了生が集う自主的な研究会「チーム・ファイナンス」（IBAフォーラム内）もスタートしました。利害関係なく切磋琢磨しあえる良き仲間として、今後もこの関係を大切にしていきたいと思っています。

IBA自体も、どんどん進化しているようです。「行動ファイナンス」や「ゲーム理論」など、新しい講座も増えています。また是非学び舎に戻って聴講し、新しい知見を得たいと楽しみにしています。そして私自身も、これからもどんどん進化していきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。